

松本孔貴助教が日本放射線影響学会で「放射線ワークショップ優秀発表賞」を受賞

当センターの松本孔貴助教が、平成 27 年度 日本放射線影響学会において「放射線ワークショップ優秀発表賞」を受賞しました。

「不均等分割照射による抗腫瘍効果と転移抑制効果」と題したプレゼンテーションでは、線量や線質配分を替えた不均等分割照射が生物に対してどのような効果を与えるのかを抗腫瘍と転移抑制の側面から検証、その発表内容が特に優れていたことから今回の受賞に至りました。

陽子線医学利用研究センターでは臨床応用を目指して、今後も生物学的な見地から様々な研究を行い、放射線治療の技術向上に貢献してまいります。



受賞した松本孔貴助教